

バスラ日誌（4月20日）

1 MND（SE）はもちろんテンポラリーな師団であり、各国軍からの軍人及び部隊が寄り集まって成り立っている。師団司令部も例外ではなく、各国の軍人が司令部内での業務に従事している。各国の事情により勤務期間はそれぞれ違う（ ）が、我々がここバスラへ来て約3ヶ月、周りに見える顔も少しずつ変わってきている。我々が撤収する頃には、我々が来た頃にいた人々はほとんど交代し、日本隊のメンバーは最古参になっていることだろう。ここですこし、その勤務交代のことについて触れると、概ね各人の申し送り期間は3～4日であり、司令部の新着任者教育やIDの発行等、全体として必要な教育等の他は上・下番者のマン・ツー・マンでの申し送りとなる。OJT的なものはなく、申し送り期間が終われば、下番者は自動的に本国へ帰る時期となり、上番者はそのまま業務に上番する。ただ、私のいるJ9はかなり専門的な知識を必要とするため、CIMICの経験がない者は、それぞれの担当に個別にブリーフィングを受けたりしている。人員の交代は逐次に行われているが、これは勤務期間の違いだけではなく、作戦運用上の考慮もなされているのであろう。師団司令部の人員が一挙に交代して、誰もが新人です何て事になったら、作戦は成り立たないだろう。その点、隷下部隊は部隊毎に交代しているので、やはり師団司令部、師団の頭脳というところが特別なのだと思う。そんなことを考えつつ、一人、また一人と勤務終了者を送り出しているが、自分が送り出されるその時まで、日本隊の一部及び司令部の一部として有効に機能できるように努力していきたい。（ ）

2 本日快晴。バスラ3名、極めて健康。（ ）



スミッティLO日々業務報告(4月20日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし () Threat Level ()
2 特記事項	(1) 19日2355、キャンプ・スミッティの南1.5kmにロケット弾 (2) 20日0200頃、PJOC銃撃、負傷者等無し
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワの治安情勢、デモ関連情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種ミーティング等 英軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE1:豪軍(小火器) 0830～1200 RANGE2:なし RANGE3:豪軍(小火器、爆発物等複合) 0700～1800